

先輩に続け

「大学生活の全てが財産」



三橋 望未 (みつはしのぞみ)

- ①職 業: 徳島県職員
- ②所 属: 徳島県西部総合県民局農林水産部<美馬>にし阿波ブランド推進担当
- ③出身地: 徳島県
- ④略 歴: 令和2年3月 生物資源産業学部
生物資源産業学科卒業
令和2年4月 徳島県入庁
徳島県西部総合県民局
農林水産部<美馬>配属

ます。美馬市・つるぎ町の山間部の農業は、山の傾斜をそのまま利用した農耕が行われ、世界的にも珍しいことから「世界農業遺産」に認定されており、海外からも注目されている地域となっています。傾斜地に広がる農村風景は、自然と人が共生する悠久の歴史を秘めた風景と言われているので、是非一度訪れてみてください！

現在、私が主に担当しているのは、作物（水稲・大豆・麦・雑穀）の専門普及に関する事で、生産者に対し栽培講習会や巡回等で栽培に関する指導を行っています。また、収量や品質の向上を目指し、肥料や農薬の現地試験も生産者と協力して行っています。お米を栽培している時期は田んぼに行くことが多く、毎年暑さと闘っていますが、とても充実しています。

在学中について

私は生まれも育ちも徳島で、幼い頃から徳島で働きたいと思っていました。高校3年生の時、徳島

大学に農林畜産産業や生物工学、食品開発等を学べる「生物資源産業学部」が設立されることがわかり、この学部で将来に必要な知識や思考を身につけ、徳島に貢献できる人になりたいと思い、入学を決めました。

在学中は、生物資源に関する基礎知識、2年次からは配属されたコース以外の関心がある専門科目も積極的に受講し、様々な分野を勉強することで、生物資源に関する教養と知識が身につく、視野が広がりました。また、生物資源産業学部ではクラス担任の先生との定期的な面談があるため、授業や進路に関することが相談しやすい環境の中で研究室や進路についてあまり悩まずに決めることができました。

研究室では、ゲノム編集技術を用いた研究を行いました。研究室では最先端の技術と知識を持った先生方のご指導のもと、日々貴重な勉強をさせていただきました。卒業論文の作成には大変苦労し、先生方には大変迷惑をかけてしま

いましたが、この経験で心身ともに鍛えられたことが、現在の業務に活かされています。

県職員になるために、3年次から大学生協の公務員講座を受講していました。学部の授業が終わった後、公務員講座を大学の友人と受け、自宅に帰ってから復習するようにしていました。友人と一緒に講座を受けていたため、わからない問題を教え合い、モチベーションを保ったまま勉強を継続できました。就職活動や公務員試験の勉強中は一人で悩みを抱え込みがちですが、周りの友人や家族、相談できる人を頼ることも大事だと思います。

在学中には勉強だけでなく部活動にも動きました。弓道部に所属し、多くの県内外の大会で経験を積めたことはとても貴重な体験だったと思います。部活動では学部や学年を超えた交流ができ、友人や先輩・後輩とのつながりができました。私自身、卒業後も部活動で出会った友人や先輩・後輩との交流が続いており、仕事の励みとなっています。

メッセージ

徳島大学に在学中の皆様には、コロナ禍で思う存分大学生活を満

喫できない状況かと思いますが、大学生の今だからこそできる友人や先生との交流、自分自身の大学生という貴重な時間を大切にしてほしいと思います。大学での思い出や友達は本当に一生の財産になります。豊かで有意義な時間をこれからも過ごし、自分自身のための大学生活を思う存分楽しんでください。



稲の生育調査の様子



傾斜地からの景色